平成27年度 行政評価の取組結果(建設局)

				【Plan】 計画 /	/ [Do	o]	実施										[Che	eck]	評価 / 【Action】改善
施策番号	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要	事業言	評価の成果指	は標(目	目標・実績)		H27年	F度	H26年度	人件:	費 (目安))		H27	年度	H29年度予算要求に向 施策の方向性
・施策名	主な事業・取組	所管課名	于宋 机加加头	指標名等	現状値 (基準値)		H26年度	H27年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額(千円)	職 位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題 施策の方向性
	1 地域に役立つ公園づくり事業	みり公整ど・園備	身では、	づくり事業による	_	目標実績	24 公園		_	175, 000	147, 148	162, 235	6, 825	K	. 05 人	順調	ワークショップ開催、計画 に基づく公園整備工事とも に、概ね計画どおり進んでい		【評価理由】 地域と行政が連携して魅力
I-1-⑥な政・よて#に育るとの協る支#		課	が参加することで公園 への愛着を高め、地域 活動など公園利用の活 性化につなげる。計画 策定後は、翌年から概 ね2ヵ年で再整備を行 う。			達成率	100.0 %	95. 0 %	_					職 0.	.70 人		\$ o	順調	ある公園づくりを進めるため、整備前にワークショップを行うなど、地域ニーズ等を反映する取組みを実施している。計画策定及びその後の整備ともに概ね予定どおり実施しており「順調」と判断。 今後も継続して、均のが連携した魅力あるくりに取り組む。
援の推進			遊具などの公園施設を 活用して、子どもが健			目標	0 公園	3 公園						課 0.	. 05 人				【課題】 地域と行政が連携した魅力 ある公園づくりを更に進める 必要がある。
	子どもの安全・ 2 成長に配慮した 公園整備事業	緑政課	和別に成長き込まれた。 犯罪等にを登している。 に成長き込に配慮した公園となるようとなるようとなるようとなり。 では、ないの意思を使えない。	子どもの安全・成 長に配慮した公園 整備事業による整 備公園数	_	実績	0 公 園	3 気	累計 4公園 (H28年 度)	36, 000	58, 588	17, 042	3, 075	係 長 0.	. 10 人	順調	計画通りの公園数を整備できた。		
			ら、公園整備を進める。			達成率	— %	100.0 %						職 0.	. 20 人				
I -3-			【施策の内容】	The object		目標	_	_	「市民 環境 力」を					課 -	- 시				【評価理由】
(1)-② 教育関係 施設のよう 携による育	【施策評価のみ】 到津の森公園に よる学習プログ ラムの提供	公園 管理 課	小学生を対象とした、 動物や自然とのよれあいを通しての大切さ や自然環境の保護の必要性を学ぶプログラム	高め、環境保全に 対する意識が高	_	実績	_	_	高め、 環境保 全に対 する意		_	_	_	係 長 -	- J	_	_	順調	遠足で到津の森公園を訪れる小学校に対して、学習プログラムの提供を続けている。 環境保全意識向上のための機会が提供できており「順調」
成			の提供	6 万之状态		達成率	_	_	識が高 まった 状態					職 -	- A				と判断。
			近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に超りてい			目標	_	_	H45年度に 河川毎に計	+				課 1.	. 00 人		ᄁᄱᆉᄷᄼᄀᅌᅝᄿᆡᄽᆥ		
	4 河川改修事業の 推進	水環境課	浸水被害が増加している。 浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進す	浸水被害の低減	_	実績	_	_	画している 降雨 (1時 間で50~ 70mm程度) に対応でき	1, 759, 350	2, 133, 727	2, 466, 532	86, 500	係 1.	. 50 人	順調	河川改修は予定どおり進捗 (河川整備率:目標83%→実 績83%) しており「順調」と 判断。		【評価理由】
II -1- (4) -4			る。			達成率	_	_	る状態					職 8.	.00 人			-	頻発する局地的豪雨などに よる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を 行っている。事業は概ね予定 今後も継続して、流
(*) 総害対策 の推進			長年市民に親しまれて いる旦過市場をさらに 魅力ある商業拠点とす			目標	_	_	概ね50年に	_				課 0.	. 50 人		「整備計画(素案)検討委 員会」を設立し整備計画を策	順調	どおり進捗しているため「順 の根幹となる河川整備 する。 【課題】
	旦過地区まちづ くりに伴う河川 整備事業	川旦 過地 区整	るために、地元と協働 で旦過地区まちづくり 整備計画を策定し、神	神嶽川(旦過地	_	実績	_	_	一度発雨で、単さる対より、一度発雨で、単ので、単ので、単の治のの治域を	5 402,000 抗	213, 000	20, 682	18, 250	係 6.	. 50 人	順調	員会」を設立し整備計画を策 定。また神嶽川の護岸工事に も着手し、左岸側(馬借側) 83mの改修が完了したため 「順調」と判断。		計画的に河川整備を進める 必要がある。
		帰 垂	撤川の治水安全度を高める、河川事業を推進する。			達成率	_	_	安全度向上					職 1.	.00 人		・11党別 1 (二十11党)。		

					【Plan】 計画	/ [Do	o]	実施										[Che	eck]	評価 / 【Action】改善	
施策番号	0. 基本	本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要	事業	評価の成果排	旨標(目標・実績)		-	年度	H26年度		費(目	安)		H27	年度		H29年度予算要求に向けた 施策の方向性
・施策名		主な事業・取組	所管課名	7.A. 10.111.00.2	指標名等	現状値 (基準値)		H26年度	H27年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	施策の方向性
II-2-				公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催していれます。	_		目標	2 公園	1 公園						課長	0.10 人				【評価理由】 市民の健康づくりの機運を 高めるため、身のでなる場でお	
(3)-④ 個人で で で で で で で で の の く る の く る の を う の の の の も の も の も の も る で も の も も も も も も も も も も も も も も も も も	6 │援	康づくりを支 する公園等整 事業	緑政課	い方を説明する。 継続的にこの健康遊具 を利用することにより、高齢者の体力増進 に繋げる。 また、ウォーキングを	健康遊具の設置公 園数	_	実績	10 公園	1	20公園 (平成 29年 度)	16, 000	17, 086	134, 933	3, 650	係長	0.10 人	順調	計画通りの公園数を整備できた。	順調	ける健康遊具の設置などの環境整備が進んでおり「順調」と判断。 【課題】 高齢者の健康づくりを推進	今後も継続して、健康づく りを推進する環境整備に取り 組む。
				通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施する。	-		達成率	500.0 %	100.0 %						職員	0.20 人				するために、更なる環境整備に取り組む必要がある。	
	ボ	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	₩ п#	市が維持及び管理する道路において、道路清) -		目標	225 団 体		0005744					課長	0.05 人		道路サポーター制度の推進 にあたっては、制度の改善に			
-	7 ネ 推:	·ットワークの :准 / 道欧++	道路 計画 課	帰・美化などのボラリ ティア活動を行う域の団体を対象に、清掃 用具や花苗の支給など	, 道路サポーター加 入団体数	_	実績	210 団体	215 団体	220団体 (H30年 度)	17, 810	16, 858	17, 478	9, 400	係 長	0.17 人	順調	活動団体の意見を反映しつつ、継続した支援やPR活動を実施しており、加入団体数は			
				により支援する。			達成率	93.3 %	101.9 %						職員	0.95 人		順調に増加している。			
				10名程度の地域住民で 組織されるボランティ ア団体で、公園の美化	;		目標	1,160 団体	1,160 団						課長	0.24 人				【評価理由】	
III-1- (1)-③	。ネ	進(公園変護	管理	活動・公園施設の点検 や禁止行為の連絡・公 園利用者のマナーづく り・市民花壇づくりな	公園愛護会の結成 数	_	実績	1,167 団体	1,169 団	1, 160団体 (毎年 度)	45, 428	43, 706	43, 306	18, 135	係長	0.45 人	順調	会員の減少、高齢化により 解散する団体も多い中、目標 を達成しており「順調」と判 断。		高齢化などの理由により解 散する団体がある中で、新た に結成した団体もあり、総団 体数も維持していることから	
まち美化活動の拡充				り・市民花壇づくりな どを行い、活動面積に 応じて活動費を助成し ている。	:		達成率	100.6 %	100.8 %						職員	1.45 人			順調	「順調」と判断。 【課題】 解散する団体があるなか、	今後も継続して、団体数の 増加に努める。
				地域の住民で構成する 河川愛護団体に清掃道 具購入の費用等となる 補助金を交付すること			目標	68 団体	69 団体						課長	0.01 人		活動団体における高齢化や		総団体数の維持・増加に向けた取組みが求められる。	
	9 ネ 推:	ランティア ・ットワークの 進(河川愛護 体)	水環境課	により、美化活動を広げる。また、美化活動 に参加することにより、地域の河川を身近	、 [〕] 河川愛護団体数 ⋮	_	実績	67 団	68 団体	72団体 (H30年 度)	2, 420	2, 406	2, 375	440	係長	0.01 人	順調	後継者不足等により、活動の 継続が困難な状況が続いてい			
				に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。			達成率	98.5 %	98.6 %						職員	0.03 人		たため「順調」と判断。			

					【Plan】 計画 /	/ 【Do)]	実施										[Che		評価 / 【Action】改善	
施策番号 施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要	事業	評価の成果指	·標(E			D #8		年度	H26年度		費(目	安)	± ₩.	H27	年度		- H29年度予算要求に向けた 施策の方向性
		工化学术、机械	771 8 18 18		指標名等	現状値 (基準値)		H26年度	H27年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	ル世界マンカドリに
		「花やみどり」による彩りと潤	緑政	都の向上とを増加 では できる できる できる でいる できる でいる できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	市民花壇活動団体 数 	574団体 (H26年 度)	目標 実績 達成率	- 団体 574 団体 - %		628団体 (H32年 度)					長	0.10 人		高齢化などの理由で解散する団体が増加し、市民花壇活動団体数は全体として減少した。特別緑地保全地区については、買収予定地の一部が交渉難航により契約が完了しな			
	10	いのあるまちづ くり	課	体と一体となって美しく快適なまちづくりを 推進する。			目標	5, 000 m²	17, 092 m	ã	— 100, 023	154, 598	58, 491	23, 150	長	0.70 人	順調	渉難航により契約が完了しなかったものの概ね目標を達成しており、加えてH26年度未買収地についても既に用地買		【評価理由】 魅力ある生活空間をつくる	
				さらに特別緑地保全地 区制度や保存樹制度を 活用し、都市に残され た貴重な緑の保全に努	特別緑地保全地区 の買収面積	_	実績	0 m²	14, 510 m	i —					職員	2.00 人		収が完了している。そのため、評価は「順調」と判断。		ために、街角の花壇整備や地域ニーズを反映した公園づくりを進めた。 市民花壇活動団体数は減少し	
Ⅲ-1- (2)-① 魅力ある				めていく。			達成率	0.0 %	84.9 %	5					貝				順調	市民花壇活動団体数は減少したものの、市民ボランティア等との協働は着実に進んでおり、また、地域ニーズ等を公園整備に反映するための計画	今後も継続して、街角の花 壇整備や地域ニーズを反映し た公園づくりなど魅力ある生
生活空間づくり				身近な公園の再整備に ついて、小学校区単位 で開催するワーク ショップで地域住民の 意見を聞き、地域二一 ズを反映した公園整備			目標	24 公園	20 公園	ì					誤長	0.05 人				策定及びその後の整備ともに 概ね予定どおり進捗しており 「順調」と判断。 【課題】 魅力ある生活空間づくりを	活空間づくりに取り組む。
	11 地域に役 園づくり	地域に役立つ公 園づくり事業	みり公整課と・園備	を行うことで、これまで以上に利用される 園を目指す。 計画段階から地域住民が参加することで公園 への愛着を高め、地域	地域に役立つ公園 づくり事業による 整備公園数	_	実績	24 公園	19 公園	<u> </u>	175, 000	147, 148	162, 235	6, 825	係長	0.10 人	順調	ワークショップ開催、計画 に基づく公園整備工事とも に、概ね計画どおり進んでい る。		さらに進める必要がある。	
				活動など公園利用の活性化につなげる。計画 策定後は、翌年から概 ね2ヵ年で再整備を行 う。			達成率	100.0 %	95. 0 %	Ġ					職員	0.70 人					
m 1				都市内に唯一残された貴重な自然空間である。			目標	_	_	生態系 」に配慮					課長	0.50 人				【評価理由】	
Ⅲ-1- (2)-③ 市しまに 説 前 は が 説 が は が は が し が し が り し り り り り り り り り り り り り り	12	身近に自然を感 じる河川整備事 業	水環境課	河自然な流れの個元と 一次で流れの個元と 一次で流れの個元と 一次で流生物の により環境にと ででは ででいる ででいる ででいる ででいる ででいる ででいる ででいる により ででいる ででいる ででいる により ででいる により ででいる により ででいる により ででいる により ででいる により ででいる により により ででいる により ででいる により により ででいる により により により により でいる により により により により により により により により	環境に配慮した護 岸整備	_	実績	_	_	し備うで然近ををにいるとは	138, 000	540, 300	724, 800	25, 750	係長	0.50 人	順調	環境に配慮した護岸整備は 予定どおり進捗 (護岸整備延 長:目標34,900m→実績 35,300m) しており「順調」 と判断。	順調	市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に実施しており「順調」と判断。 【課題】 治水面と環境面のバランス	今後も限られた敷地の中 で、最大限生態系に配慮した 整備を行う。
京 ノ 、 ツ				の増加など、対近に自 然を感じる水辺環境整 備事業を行っている。			達成率	_	_	じる状態					職員	2.00 人				活水面と環境面のバランス を取る必要がある。	

					【Plan】 計画 .	/ [D	o]	実施										[Che	eck]	評価 / 【Action】改善	
施策番号	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要	事業	評価の成果技	指標(目	目標・実績)			7年度	H26年度		費(目	(安)		H27	年度		- H29年度予算要求に向けた 施策の方向性
・施策名		王な事業・収組	所官課名	7.10 2.102	指標名等	現状値 (基準値)		H26年度	H27年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	施東の方向性
				高齢者や障害者など、 誰もが安全で快適に通 行できるよう、道路・ 公園のバリアフリー化			目標	89 %	90 %						課長	0.10 人					
	13	バリアフリーの まちづくり	道路 計画 課	を行い、バリアフリー のまちづくりを進歩 る。具体的には、歩道 の新設や拡幅、段差解 消、視覚障害者誘導用	- 主要駅周辺地区の 三主要経路の整備率	_	実績	89 %	90 %	95% (H30年 度)	951, 600	926, 640	1, 007, 204	26, 150	係長	1.00 人	順調	関係団体と協議を行いなが ら、計画的に整備を行ってお り「順調」と判断。		【評価理由】 関係団体と協議を行いなが らのバリアフリー化や、通学 路の改善要望に対応するな	本市における高齢化率は 全国平均を大きく上回ると もに、他の政令指定都市の
Ⅲ-1- (3)-② 安心して 通行でき る身近な				ブロックの設置などの バリアフリー化を行 う。			達成率	100.0 %	100.0 %						職員	2.00 人			順調	ど、子どもから高齢者まで誰もが安心して通行できる環境整備が進んでおり「順調」と判断。	もに、他の政令指定都市の で最も高く、高齢化が急速 進展している。このような 況のもとバリアフリー化の 進は必要不可欠であり、着 に取り組みを継続する。
道路の整備				登下校中の児童が交通 事故に巻き込まれず、 安全に安心して通学で			目標	_	_						課長	0.10 人				【課題】 バリアフリーのハード整備 とあわせて、今後はバリアフ リー化の取り組みの周知な	また、児童の安全・安心な 通学路環境の整備は、交通 全事業において最も重要な 策であり、引き続き、対策
	14 競策	通学路の安全対 策	道路計画課	また。 まる環境を整えるや学た を整まるや学校と 関係者、警察と一体と なって、さらなる通学	通学路の危険箇所 ミーにおける対策完了	_	実績	82 箇所	113 箇所	_	805, 000	521, 304	503, 084	26, 150	係長	1.00 人	順調	学校からの改善要望箇所について、対応可能な箇所の対策を鋭意進めており「順調」と判断。		ど、ソフト面の施策の充実を 図ることが重要。	取り組んでいく。
				路の安全対策を推進する。			達成率	_	_						職員	2.00 人					
				北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副	:		目標	_	_	歩いて					課長	1.00 人		마수町국사다라'중면 이미-			
	小倉駅・黒 ^山 15 前の賑わいこ りの推進	小倉駅・黒崎駅 前の賑わいづく りの推進	道路	都心部の駅前において、魅力的な都市環境 の創造につながる道路 環境整備を行い、まち	歩いてみたくなる 歩行空間を創出	_	実績	_	_	みたる な 行の 創出	1, 681, 791	1, 863, 216	1, 276, 378	61, 500	係長	2.00 人	順調	小倉駅南北自由通路のリニュー アルは予定どおり進捗(目標 54%→実績58%)しており「順 調」と判断。			
V-1- (2)-(1)				の賑わいを推進する。			達成率	-	_	0 7А;Ш					職員	4.00 人			_	【評価理由】 都心のにぎわいづくりのために、小倉駅南北自由通路のリニューアル及び旦過地区まちづく	
を 都心のに ぎわいづ くり			*** :=:	長年市民に親しまれている旦過れる生まれる場合とした。			目標	_	_	概ね50年に	:				課長	0.50 人		「整備計画(素案)検討委	順調	りに伴う河川整備が着実に進 捗しており「順調」と判断。 【課題】 都心のにぎわい創出に向	引き続き、計画的な事業 施に努める。
	16	旦過地区まちづ くりに伴う河川 整備事業	過地 区整	魅力ある商業拠点とよするために、地元と協りで ・世過地区ままでしる ・世過地区ままでします。 ・世級リー ・世 ・世 ・世 ・世 ・世 ・世 ・世 ・世 ・世 ・世	区)の治水安全度 □ 向上	_	実績	_		一る対よ川区 発生にき 対よう ()の の 治 が が が が が が が が が が が が が が が が が	402, 000	213, 000	20, 682	18, 250	係長	0.50 人	順調	員会」を設立し整備計画を策定。また神嶽川の護岸工事にも着手し、左岸側(馬借側)83mの改修が完了したため「順調」と判断。		け、継続した取組みが必要。	
			vm <u></u>	める、河川事業を推進する。			達成率	_	_	安全度向上					職員	1.00 人		weeps CipPio			

					【Plan】 計画 /	/ [Do]	実施									[Che	eck]	評価 / 【Action】改善	
施策番号	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要	事業	評価の成果指標	(目標・実績	į)		H27年		H26年度		費 (目安)		H27	年度		- H29年度予算要求に向けた 施策の方向性
・施策名		主な事業・取組	所管課名	于不 小组加工	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額(千円)	職 人数	事業評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	施策の方向性
V-1- (2)-②・居をたづ ・居をたづ 交住重副く	: 17	小倉駅・黒崎駅 前の賑わいづく	道路計画	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、戦力的な都市環境	黒崎駅南北自由通	4,500人	2	_	6, 500人	1, 681, 791 1	. 863. 216 1	1, 276, 378	61 500	展 2.00		黒崎駅南北自由通路、黒崎 ペデストリアンデッキルーフの整備は予 定どおり進捗(目標54%→実	順調	【評価理由】 副都心のにぎわいづくりの ために、黒崎駅南北自由通路 及び黒崎ペデストリアンデッキルーフを 整備した。事業は予定どおり 進捗しており「順調」と判	引き続き、計画的な事業実
機能を重 視した副	i ' '	りの推進	課	て、魅力的な都市環境 の創造につながる道路 環境整備を行い、まち	路利用者数	(H24年 ^績 度)			(H30年 度)	1, 331, 731	, 000, 210	1, 270, 070	01,000	長 2.00 /	八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	積56%) しており「順調」と 判断。	川只 山内	断。	施に努める。
部心つくり				の賑わいを推進する。		達成率	- I	_						職 4.00				【課題】 引き続き、副都心のにぎわい創出に向けた取組みが必要。	
				港湾・空港・鉄道ター ミナルなど、拠点間を		目標		_						課 1.00 /					
	18	自動車専用道路 ネットワークの 整備	道路 計画 課	結ぶ交通・物流ネット ワークの構築や地域間 の連携・交流促進を図 るため、環状放射型自	朝ピーク時の響灘 地区〜東田地区間 の所要時間	43分 (H21年 度)	- Little	_	13分 (H39年 度)	1, 550, 000	, 806, 331	1, 915, 708	69, 000	係 2.00 .	順調	戸畑枝光線の事業は予定ど おり進捗(目標16%→実績 18%)しており「順調」と判 断。		【評価理由】 広域物流ネットワークの強 化に向けた交通網の整備を実	
V-2- (2)-① 広域物流 ネット	5			動車専用道路ネット ワークの整備を推進す る。		達成率		_						職 5.00 2		HVI 0	順調	施した。戸畑枝光線をはじめ、主要な道路の事業進捗は計画通り行われており「順調」と判断。	今後も計画的に主要な道路 整備を進める。
ウークの 強化	,			主要な街路・道路事業		目標		_						課 3.00 .			-	【課題】 最終目標達成に向けて、引	
	19	主要な道路の整 備(恒見朽網線 など)	道路 計画 課	を重点的かつ速やかに 整備することで、市内 の渋滞対策、物流ネッ トワークの強化、地域	州空港間の所要時	36分 (H21年 度)	_	_	28分 (H37年 度)	4, 154, 749 5	5, 928, 996	8, 711, 899	217, 250	係 6.50 .	順調	主要な道路の事業は予定ど おり進捗しており「順調」と 判断。		き続き、道路整備を進める必要がある。	
		,	IDIX	間の連携・交流促進を図る。		達成	t	_	_ /2/					職 15.70 /		11910			
				港湾・空港・鉄道ター ミナルなど、拠点間を 結ぶ交通・物流ネット		目標		_						課 1.00 .					
77.0	20	自動車専用道路 ネットワークの 整備	道路 計画 課	ワークの構築や地域間 の連携・交流促進を図 るため、環状放射型自	地区~東田地区間	43分 (H21年 度)		_	13分 (H39年 度)	1, 550, 000	, 806, 331	1, 915, 708	69, 000	係 2.00 2	順調	戸畑枝光線の事業は予定ど おり進捗(目標16%→実績 18%) しており「順調」と判 断。		【評価理由】 広域物流ネットワークの強 化に向けた交通網の整備を実	
V-2- (2)-② 市民の交 通利便性	:			動車専用道路ネット ワークの整備を推進す る。		達成率	_ f	_						職 5.00 /		ETIO	順調	施した。戸畑枝光線をはじめ、主要な道路の事業進捗は 計画通り行われており「順	今後も計画的に主要な道路
の向上と 産業活動 の支援				主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに		目標	_	_						課 3.00 .				調」と判断。 【課題】 最終目標達成に向けて、引	整備を進める。
	21	主要な道路の整 備(恒見朽網線 など)	道路 計画 課	整備することで、市内 の渋滞対策、物流ネッ トワークの強化、地域	州空港間の所要時	36分 (H21年 度)		_	28分 (H37年 度)	4, 154, 749 5	5, 928, 996	8, 711, 899	217, 250	係 6.50 .	順調	主要な道路の事業は予定ど おり進捗しており「順調」と 判断。		取終日保達成に同りて、引き続き、道路整備を進める必要がある。	
		,		間の連携・交流促進を図る。		達成		_						職 15.70 /					

				【Plan】 計画 ,	/ [Do)】 実施										[Ch	eck]	評価 / 【Action】改善	建 放用
****	甘土司 玉の状体 七 株 代十 7	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		事業	評価の成果指	は標(目標・実 絹	[)		H274	年度	H26年度	人件到	費(目	1安)		H27	年度		U20在在又符票书上点点+
施策番号 施策名	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	王要事業 所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	中期目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	- H29年度予算要求に向けた 施策の方向性
			北九州モノレールは、 昭和60年に開業後、約 30年が経過しており、 軌道桁やそれを支える 支柱等について、経年			目	_						課長	0.75 人					
	22 長寿命化事業		的な劣化が見られる。	インフラ構造物の 長寿命化で実施 ることでで シレールの安全・安 心な運行を確保	_	実 _	_	完了 (H33年 度)	900, 810	1, 028, 103	1, 021, 742	57, 375	係長	1.50 人	順調	モノレールの軌道桁や支柱 の耐震対策、劣化対策を概ね 予定どおりに実施しており 「順調」と判断。			
			市民の重要な交通機関であるモノレールの安全性・信頼性の確保を図る。			達 成 — 率	_						職員	4.50 人					
V-3- (1)-②						目	_	△→亜					課	1.10 人				【評価理由】 モノレール、橋梁、トンネ ルといった都市基盤の長寿命 化対策は、概ね計画どおり進	
都市基 盤の適 が を が が が が が が り う で り う り う り り り り り り り り り り り り り			市内には、約2,000の 橋梁と42本のトンネ ルがあり、高齢化・老 朽化の進展が懸念され ている。そこで、従来	向上による市民の	_	実	_	- 全主要の度 Ⅲ (H31年)					長	1.10 🗴			順調	捗しており「順調」と判断。 【課題】 引き続き、計画に沿って長 寿命化対策を実施する必要が	引き続き、計画に沿って長 寿命化対策を実施する。
	Eな 管理 橋梁・トンネル	道路維持	の対症療法型補修を改め、予防保全型に移行するため、「北九州市 橋梁長寿命化修繕計画」(H22.3)及び			達 成 — 率	_	度)	- 2 014 860	2 636 094	2, 326, 551	100 150	係	2 00 J	順調	橋梁・トンネルのリニュー アルエ事を概ね予定どおりに		ある。	
	25 計画的な取り組 み	維持課	「北九州市トンネル長 寿命化修繕計画」 (H25.2) を策定し た。本事業は、この計 画をもとに、予防保全			目	_	- 全トンネル	2, 011, 000	2, 666, 661	2, 020, 001	100, 100	長	2.00 X	NIX D/II	実施しており「順調」と判断。			
			が有効な状態である健全度Ⅲ以上の橋梁とトンネルを増加させることで市民の安全・安心を確保する。	向上による市民の	_	実	_	ー 宝Pが ー の健工 度 正 ー (H33年 ー 度)					職員	9.00 人					
						 達 成 — 率	_	,2,					貝						

					【Plan】 計画 /	/ 【Do]	実施										[Che	eck]	評価 / 【Action】改善	
施策番号	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要		評価の成果指	П			т #B	-	年度	H26年度 決算額		費(目		市 米		年度		H29年度予算要求に向けた 施策の方向性
367K E		T 0 + 2K - 1K/M			指標名等	現状値 (基準値)		H26年度	H27年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	(千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由 	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	10×0×11-11
VI-1- (2)-(2)				計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれの管機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の			標	2,000 人	2,000 人						課 長	0.03 人		悪天候による中止もあった		【評価理由】 農業体験を通した環境政策 への市民参加を進めている。	
あ主る策の がは現る がの推進の が変われる	24 l	長野緑地を利用 した農業体験教 室	公園 管理 課	整端、またのは、 を備、また、中りれた。 を提供とびいた。 を提供とびいた。 を提供したがいる等では、 を使用したイベン	農業体験教室への	_	実績	2,447 人	2,328 人	2,000人 (毎年 度)	2, 600	2, 674	2, 674	1, 120	係 長	0.04 人	順調	が、目標人数を達成することができたため「順調」と判断。	順調	今年度も多くの市民参加があり「順調」と判断。 【課題】 今後も継続した取組みが求	今後も継続して、農業体験 教室を実施する。
				慢物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。			達成率	122.4 %	116.4 %						職員	0.05 人				められる。	
				都市景観の向上と潤い のある街づくりを目指		574団体	目標	_ 団	583 団体	628団体					課長	0.10 人				【評価理由】	
VI-2-				し、花壇(公共花壇) の整備を行うと共に、 市民花壇やスポンサー 花壇、うぇるっちゃ!	市民花壇活動団体 数	(H26年 度)	実績 達	574 団体	570 団体	026団体 (H32年 度)								高齢化などの理由で解散する団体が増加し、市民花壇活動団体数は全体として減少し		市民花壇活動団体数は減少したものの、市民ボランティア等との協働は着実に進んで	
(1)-③ 総合的な 緑化・森	25	「花やみどり」 こよる彩りと潤 いのあるまちづ	緑政 課	花壇といった、市民ボ ランティアや企業・団 体と一体となって美し			成率		97.8 %		100, 023	154, 598	58, 491	23, 150	係長	0.70 人	順調	た。特別緑地保全地区については、買収予定地の一部が交 渉難航により契約が完了しな かったものの概ね目標を達成	順調	いる。また、H27年度買収予 定地の一部が契約に至らな かったものの、H26年度の未 買収地については既に契約が	今後も継続して、街角の花 壇整備など総合的な緑化を進 める。
林整備の 実施	((<i>θ</i>		く快適なまちづくりを 推進する。 さらに特別緑地保全地			標	5, 000 m²	17, 092 m ²									しており、加えてH26年度未 買収地についても既に用地買 収が完了している。そのた		完了している。そのため評価は「順調」と判断。	
				区制度や保存樹制度を 活用し、都市に残され た貴重な緑の保全に努	特別緑地保全地区 の買収面積	_	実績	0 m²	14, 510 m ²	_					職員	2.00 人		め、評価は「順調」と判断。		【課題】 今後も継続して総合的な緑 化の取組みが求められる。	
				めていく。			達成率	0.0 %	84.9 %						員	2.00 🗶					
							目標	_	_						課長	0.50 人					
Σ.Π				都市内に唯一残された 貴重な自然空間である 河川を、水際の植生や						生態系に配慮										【評価理由】 市民に親しまれる水際線づ	
VI-4- (1)-② 身近を 動 る都 くり	26 L	身近に自然を感 ごる河川整備事 業	水環境課	自然な流れの復元など により、生物の生息を 生育環境に配慮した整備を行うことによっ て、ホタルの飛翔や緑 の増加など、身近に自	環境に配慮した護 岸整備	_	実績	_	_	し備うで然近じたをこ、をにる整行と自身感状	138, 000	540, 300	724, 800	25, 750	係長	0.50 人	順調	環境に配慮した護岸整備は 予定どおり進捗 (護岸整備延 長:目標34,900m→実績 35,300m) しており「順調」 と判断。	順調	くりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に実施しており「順調」と判断。 【課題】 治水面と環境面のバランス	今後も限られた敷地の中で、最大限生態系に配慮した 整備を行う。
				然を感じる水辺環境整 備事業を行っている。			達成率	_	_	態					職員	2.00 人				を取る必要がある。	

					【Plan】 計画 /	/ [Do]	〕 実	施										[Che	eck]	評価 / 【Action】改善	
施策番号	4	其木計画の施策を構成する	士亜 重業		事業	評価の成果指	標(目標	• 実績)			H27年	度	H26年度	人件	費(目	安)		H27	年度		H29年度予算要求に向けた
- 施策名	No. ²	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H26	6年度	H27年度	中期 予算目標 (千	算額 F円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	H29年度予算要求に向けた 施策の方向性
				都市景観の向上と潤い			目 _	. 団体	583 団体						課長	0.10 人					
				のある街づくりを目指し、花壇(公共花壇) の整備を行うと共に、 市民花壇やスポンサー	市民花壇活動団体 数	574団体 (H26年 度)	実 績	4 団体	570 点 ()	8団体 H32年 度)					長	0.10 X		高齢化などの理由で解散する団体が増加し、市民で増加			
	27		緑政	花壇、うぇるっちゃ! 花壇といった、市民ボ ランティアや企業・団 体と一体となって美し			達 成 — 率	- % 9	97.8 %	100,	, 023 1	154, 598	58, 491	23, 150	係長	0.70 人	順調	動団体数は全体として減少した。特別緑地保全地区については、買収予定地の一部が交渉難航により契約が完了しな			
		(l)		く快適なまちづくりを 推進する。 さらに特別緑地保全地			目 標 5,00	00 m ² 1	17, 092 m ²									かったものの概ね目標を達成しており、加えてH26年度未買収地についても既に用地買収が完了している。そのた		【評価理由】 市民と自然とのふれあいを	
VI-4- (1)-③ 市民と自				区制度や保存樹制度を 活用し、都市に残され た貴重な緑の保全に努 めていく。	の買収面積	_	実 績 達	m³ 1	14, 510 m²	-					職員	2.00 人		め、評価は「順調」と判断。		進めるため、街角の花壇整備 や農業体験教室を実施した。 市民花壇活動団体数は減少し たものの、市民ボランティア	 今後も継続して、街角の花
市民と自 然とのふ れあいの 推進							成 0.	0 % 8	84.9 %										順調	等との協働は着実に進んでい る。また、農業体験教室は目	壇整備や農業体験教室など市
推進				計画地内に複数の活動 エリアを設け、一年を 通してそれぞれのエリ アで有機農業栽培管理			目 2,00	00 人 2	2,000 人						課長	0.03 人				に。評価は「順調」と判断。 【課題】 今後も継続した取組みが求められる。	
	28	した農業体験教	公園 管理 課	や花作りを体験する市 民参加による農地等の 整備、管理等に取り組 む。また、で遊び、 が自然の中で遊び、 以 ぶ場を提供したり、収	農業体験教室への 参加者数	_	実 績 2,44	17 人 2	2,328 人 (000人(毎年 2,6	600	2, 674	2, 674	1, 120	係長	0.04 人	順調	悪天候による中止もあった が、目標人数を達成すること ができたため「順調」と判 断。			
				穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。			達 成 122. 率	4 % 1	116.4 %						職員	0.05 人					
VII-3-		【佐笠証圧のなり					目標	_	_ _ _	- + .hl					課長	– Д				古も私占熱古光災値の行	
(2)-① 東九州地 域との連	29 3	末九州日 <u></u> 到平坦 唐弘伊准协議会	道路 計画 課	【施策の内容】 東九州自動車道建設促 進協議会の要望活動	【施策の指標】 東九州自動車道の 建設促進	_	実績	_	_ 自	『九州 動車 - 直の建 - &促進	_	_	_	_	係長	- Д	_	_	順調	東九州自動車道沿線の福 岡・大分・宮崎・鹿児島県と 協力、連携しながら、整備活 動の要望に取り組んでいる。	今後も沿線自治体と協力し て、要望活動に取り組む。
捞							達成	_	_						職員	人					